

## NO39 宝暦・天明期の文化②(学問・私塾)

### NO265 西洋の情報の摂取 2010 本試

西洋の情報の摂取に関して述べた次の文について、古い順に並べよ。

- I 新井白石が、イタリア人宣教師シドッチを尋問した。
- II 幕府の天文方に、翻訳のための蛮書和解御用がおかれた。
- III 漢訳洋書のうち、キリスト教にかかわらないものの輸入が認められた。

答→ I、III、II 新井白石の正徳の治後に行われた徳川吉宗の享保の改革で、漢訳洋書の輸入制限が緩和されたことにより洋学が発展し、化政期に蛮書和解御用が設置されたという、洋学の大きな流れをつかんでいれば正解できる。

### NO266 江戸時代の都市社会 2005 本試

江戸時代の都市社会について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 江戸や大坂の有力な両替商が、大名貸や為替業務を行った。
- ② 幕末になると、異様な風体をした「かぶき者」が横行しはじめた。
- ③ 大槻玄沢は、江戸に私塾芝蘭堂を開いた。
- ④ 西山宗因らの談林派による俳諧がもてはやされた。

正解→明らかな誤文を見つける問題の典型例。かぶき者の出現は4代家綱の時代で②。大槻玄沢の芝蘭堂、要チェック。

### NO267 江戸時代の儒者と対外関係 2012 本試 年代整序

江戸時代の儒者と対外関係に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に並び変えよ。

- I 水戸藩の会沢安(正志斎)が『新論』を書き、尊王攘夷運動に影響を与えた。
- II 木下順庵の門下である雨森芳洲が、対馬藩で対朝鮮外交に尽力した。
- III 幕府に登用された林羅山が、外交文書を起草した。

正解→III-II-I 雨森芳洲は新井白石と対立した。

### NO268 江戸時代の社会体制批判 2004 追試

江戸時代の社会体制批判の動きに関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 本多利明は、貿易による国富の増進を主張した。
- ② 安藤昌益は、『自然真営道』を著して社会を批判した。
- ③ 山県大弼は、尊王論を唱えて幕府を批判した。
- ④ 佐倉惣五郎は、世直し一揆を指導した義民とされている。

正解→代表越訴型一揆が佐倉惣五郎であり、世直しではない。④

### NO269 懐徳堂について 2000 本試

懐徳堂について述べた次の文 I～III について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の

Pain is inevitable Suffering is optional

①～④のうちから一つ選べ。

- I 懐徳堂に学んだ富永仲基や山片蟠桃は、歴史や社会を合理主義的に解釈した説を唱えた。
  - II 懐徳堂では、世界の動きを広く知るために、主として洋学が教えられた。
  - III 懐徳堂は、大坂の町人たちによって、庶民への高度な教育をおもな目的として設立された。
- ① I 正 II 正 III 誤    ② I 正 II 誤 III 正  
③ I 誤 II 正 III 誤    ④ I 誤 II 誤 III 正

正解→

### NO270 江戸時代の思想・文化 2006 本試

江戸時代の文化・思想について述べた文として誤っているものを、次から一つ選べ。

- ① 『広益国産考』などの農書によって、新しい農業技術が広まった。
- ② 『日本永代蔵』などの浮世草子には、現世を生き抜く町人の姿が描かれた。
- ③ 『経済録』を著した太宰春台は、藩による商業活動の重要性を説いた。
- ④ 『聖教要録』を著した山鹿素行は、積極的な貿易拡大を説いた。

正解→『聖教要録』は武士の日用の道徳を主張したもの。

### NO271 江戸時代の学問 2005 追試

江戸時代の学問について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 吉田光由が『塵劫記』を著し、和算の普及に寄与した。
- ② 中国の暦を訂正した貞享暦が作成された。
- ③ 北村季吟は、日本の古典を収集して、『群書類従』を編纂した。
- ④ 動物や薬草などの研究を行う本草学が発達した。

正解→北村季吟→塙保己一。北村季吟は古典注釈を行なう。

### 化政文化

#### 学問・思想の動き 243 頁～経世論

藩重商主義の立場

享保期【太宰春台】…『経済録』で藩営商業論

化政期【海保青陵】…『稽古談』積極的に藩専売を主張

#### 国家重商主義の立場

寛政期【本多利明】…『経世秘策』(天明の飢饉の危機打開策)で対外貿易論を展開

…『西域物語』で西洋交易の必要を説く

化政期【佐藤信淵】…『経世要録』で官営商業・海外進出を主張

#### 封建思想批判

宝暦期【安藤昌益】…『自然真営道』で、万人直耕の自然世を説く。「自然」とか「直耕」とかきたら必ずこの人。

#### 懐徳堂出身の二人もペア

宝暦期【富永仲基】(懐徳堂)『出定後語』で仏教批判

化政期【山片蟠桃】(懐徳堂)『夢の代』で無鬼論を説く

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

### 尊王論

宝暦期【**竹内式部**】宝暦事件＝京都で尊王論を説き処罰

田沼期【**山県大弐**】明和事件＝江戸で著書『柳子新論』を講義し死罪

### 水戸学

天保期【**藤田東湖**】『弘道館記述義』と【**会沢安**】『新論』

### 町人道德

享保期【**石田梅岩**】儒教道德に神・仏統合し石門心学創始『**都鄙問答**』

### 国学

化【**本居宣長**】⇒国学を大成、『**古事記伝**』を著す

化【**塙保己一**】⇒和学講談所を設立、『**群書類従**』を著す

化【**平田篤胤**】…復古神道を唱える。国粹主義の立場を強め、尊王攘夷運動に影響を与える

### 洋学

元化【**青木昆陽**】・野呂元丈…吉宗の命によりオランダ語を学ぶ

化【**杉田玄白**】⇒良沢とともに『**解体新書**』苦心談『蘭学事始』

化【**前野良沢**】⇒『解体新書』

化【P **大槻玄沢**】

⇒『蘭学階梯』(蘭学の入門書)、江戸の私塾の【P **芝蘭堂**】を開く

化【**稲村三伯**】…『**ハルマ和解**』(初の蘭日辞書)

化【**緒方洪庵**】

⇒【**適塾**】を大坂に開く。福沢諭吉、大村益次郎らが学ぶ

化【**稲村三伯**】⇒『**ハルマ和解**』(オランダ語の辞書)

化【**高橋景保**】⇒幕府に翻訳所の蛮書和解御用の設立を建議。シーボルト事件で投獄されて獄死。

化【**平賀源内**】⇒エレキテル製作

化【**志筑忠雄**】⇒『**曆象新書**』(天文・物理学者)

化【**高橋至時**】⇒天文方、寛政暦作成

化【**伊能忠敬**】⇒『大日本沿海輿地全図』作成

## ●政策論と弾圧

幕藩体制の行き詰まりと社会の変化は、思想面にも大きな影響を与えました。

18世紀半ば以降には幕藩体制を批判する思想、あるいは改良を説く経世論、対外危機への対応を論じるものなどができます。ここでは、人名・著作名と思想の特色をセットで覚えましょう。

統制【**蛮書和解御用**】設立:1811(文化8)年

→研究統制を目的に、天文方に設立。高橋景保の建議。

### 弾圧

※ **シーボルト** 事件1828(文政11)年 シーボルト:ドイツ人医師(鳴滝塾をひらく)

※ 蛮社の獄 :1839(天保10)年

【**渡辺崋山**】『**慎機論**』・【**高野長英**】『**戊戌夢物語**』



## 江戸時代の頻出私塾

塾名	設立者	関係事項
( <b>花鳥教場</b> ) (1641)	熊沢蕃山	岡山藩。最古の私塾
( <b>藤樹書院</b> ) (1648)	中江藤樹	日本陽明学の祖
( <b>古義堂</b> ) (1622)	伊藤仁斎	古学派
( <b>護国塾</b> ) 1709頃		
( <b>懐徳堂</b> ) 1724	中井塾庵	【 <b>富永仲基</b> ・ <b>山片蟠桃</b> 】
( <b>鈴の屋</b> ) 1758	本居宣長	伊勢松坂
( <b>芝蘭堂</b> ) 1786	大槻玄沢	オランダ正月
( <b>咸宜園</b> ) 1817	広瀬淡窓	豊後日田
( <b>鳴滝塾</b> ) 1824	シーボルト	高野長英
( <b>洗心洞</b> ) 1830頃	大塩平八郎	
適塾1838	( <b>緒方洪庵</b> )	(橋本左内・大村益次郎・福沢諭吉)
( <b>松下村塾</b> )	玉木文之進	吉田松陰の叔父。久坂玄瑞・高杉晋作

